

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和冷機工業株式会社 大阪	階数	地上1F
建設地	東大阪市高井田中	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	15 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年10月26日
敷地面積	3,713 m <sup>2</sup>	作成者	谷口 健
建築面積	2,723 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,746 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性 耐用性 対応性

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.6

生物環境 まちなみ 地域性・

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源 非再生材料の 汚染物質

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	LED等の高効率機器を採用し、屋根には太陽光パネルを設けることで、建物内で使用する電気を全て太陽光発電による自然エネルギーで補うことが可能な建築物とした。	その他 特に無し
Q1 室内環境	評価対象外	Q3 室外環境(敷地内) 道路に面する部分には緑地を設け、建物の高さを抑えた計画とすることで、周囲に開けた建築物となるように配慮した。
LR1 エネルギー	BEIm=0.00	LR3 敷地外環境 大気汚染防止に配慮し、ガス給湯器等の燃焼機器は採用していない。
Q2 サービス性能	壁長さ比率を低く抑えることで、将来のプラン変更等にもフレキシブルに対応可能な計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	節水機器及び特定調達品目対応の部材を選定することで、省資源化に寄与した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0116

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)大和冷機工業株式会社 大阪新配送センター 新築工事						
	建設地	東大阪市高井田中						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						5	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
<b>エネルギー消費量の報告</b>								
【評価項目】								
	項目	評価内容					スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					4.9	5
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価					2.0	2
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価					2.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価					2.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						-
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					5.0	5
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	—
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
<b>その他</b>								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項	LED等の高効率機器を採用し、屋根には太陽光パネルを設けることで、建物内で使用する電気を全て太陽光発電による自然エネルギーで補うことが可能な建築物とした。						